


「平成17年度 第2期 定置用燃料電池大規模実証事業」への参画について

1. 当社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:高萩光紀)は、財団法人新エネルギー財団が独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構から助成を受けて実施する「平成17年度第2期 定置用燃料電池大規模実証事業」において、本日、第1期に引き続いて実施者として採択され、当社が推進するLPG改質型定置用燃料電池システム「JOMO ECOCUBE」10台分の助成金交付の決定を受けました。(平成17年度第2期 定置用燃料電池実証事業の交付決定内容全体については、財団法人新エネルギー財団の報道発表ないしホームページを参照ください。)
2. 当社は、「第1期 定置用燃料電池大規模実証事業」において、本年6月上旬から、関東圏を中心に「JOMO ECOCUBE」の一般家庭への設置を取り進めてきましたが、去る8月31日に第1期分の設置はすべて完了しており、現在、同装置は順調に稼働しております。
3. 「第2期 定置用燃料電池大規模実証事業」においては、本年11月中旬頃から来年2月にかけて、「JOMO ECOCUBE」10台を全国的に設置していく予定です。
4. 「JOMO ECOCUBE」の仕様は次のとおりです。
 - (1) 定格発電容量: 700W
 - (2) 定格発電効率: 30%以上 (HHV)
(注) HHV
Higher Heating Value(高位発熱量)の略。
 - (3) 定格総合効率: 65%以上 (HHV)
 - (4) サイズ: (本体)H 885×W 870× D 350(mm)
(貯湯槽)200リットル
 - (5) 重量: (本体)170kg
 - (6) 燃料: LPG
 - (7) システム提供: 東芝燃料電池システム株式会社
5. なお、当社は、本年度から2007年度までの3年間に「JOMO ECOCUBE」を150台程度設置することを目標としております。

● 【参考資料】

 「JOMO ECOCUBE」の写真 (PDF:24KB)

▶ JOMO ECOCUBEのページへ

以上